

藥 同

令和6年3月8日発行

心安らぎ、
心温まる



特集 **Go! Go! Go!**

社会福祉法人
真宗協会 広報誌

目次 contents

テーマ「Go! Go! Go!」



あんのん No.55
2024年3月8日発行

【発行人】
社会福祉法人 真宗協会
広報・地域公益活動委員会

Shunsuke Amano
Erika Ishii
Yuki Okubo
Akira Go
Takeshi Tanabe
Katsutoshi Monoi
Masahiro Yoshinari

【印刷】
株式会社クナウパブリッシング
Editor & Photo

Konomi Nakagawa
Mayuka Ishizaki
Taichiro Watanabe
Design Shunsuke Nakataka

※本誌掲載の記事、写真等の
無断転載を固く禁じます。

3 ～撮れたて!直送～ ほっとスマイル便

次年度に向けてLet 'GO !

帯広光南病院 大沼 瑞穂さん／帯広マイトリー 前田 真利さん
帯広はちす園 清水 裕二さん／帯広信楽苑 平井沙希さん

5 僕たち、私たち Nice! コンビ

帯広慈光学園 高田 知佳さん&安川 恵さん

6 郷 ～故郷の懐かしい思い出～

帯広至心寮 右近 ミヨ子さん

7 あんのん55号記念

あんのんができるまで

9 剛 ～スポーツに取り組む職員を紹介～

帯広はちす園 岡村 智啓さん

10 私と〇〇シリーズ 私と「私とペーパーブロック」

帯広信楽苑 片桐 弘明さん

11 豪遊してきました!

帯広慈恩の里 土田 徳藏さん

12 法人ステップ休暇を利用!

帯広やわらぎ園 鈴木 純弥さん

13 男性職員の子育て応援

帯広慈恩の里 ファンドッグ・ギャさん

14 帯広慈光学園 職員による虐待行為について

表紙 の人

「診療情報管理士」に合格!

診療情報管理士とは
診療情報をデータベースへ入力することや、統計資料を作成することを業務とする専門
職です。患者さんの大切な個人情報を守り、かつ病院の経営や病気の研究にデータを役
立てるための資格です。



帯広光南病院 総務課長
和^わ田^た 卓^{たくし}さん(56歳)

最後の3カ月は図書館に通い詰めて勉強し
ていたという、短期集中タイプ。今回の合
格で勉強する楽しさを知った!?

帯広光南病院 事務員
上^{かみ}出^で 日^ひ登^と美^みさん(55歳)

年末年始やお盆以外は毎日机に向かおうと
決め、実際に行動していたコツコツタイプ。
次に挑戦したいのは「大学受験」。心理学を
学びたいそうです。

表紙のロケ地

帯広光南病院

今回のテーマは「Go! Go! Go!」。難しい試験に「合格」した
お2人のツーショット!
通信などで2年間勉強し、令和4年に合格。資格取得後は業
務がよりスムーズになったと喜びの声をいただきました。





春になれば花を植えたり、公園の草刈りなどの整備を行います。

帯広はちす園 利用者
しみず ゆうじ
清水 裕二さん(43歳)

- 1 冬は木工、春からは園芸に精を出します。
- 2 しゃもじやバターナイフなどのやすり掛けを担当。15～20分ほど丹念に磨き、なめらかに仕上げます。



作業技術は
ベテラン並！

スキルアップを目指して頑張ります！

帯広信楽苑 支援介護員
ひらい さき
平井 沙希さん(25歳)

- 1 福祉科のある高校を選び、介護福祉士になるために、毎日座学から実践まで頑張りました。今後はスキルアップのために「ケアマネジャー」の資格を取りたいです！
- 2 この資格を取ると、今以上に利用者の方々へできる「支援の幅」が増えるからです。



資格取得に向けて少し不安そうな表情の平井さんに、取材に同席した先輩から「いけるよ！」と心強いエールが！

～撮れたて！直送～ ほっと スマイル便 次年度に向けてLet's GO！

- 1 春から挑戦したいこと
- 2 挑戦したい理由やエピソード

帯広光南病院 准看護師
おおぬま みずほ
大沼 瑞穂さん(40歳)



- 1 正看護師の資格に挑戦！
- 2 子どもに手がかからなくなってきて、家族の理解や上司の後押しもあり挑戦することになりました。



准看護師から
正看護師へ
ステップアップ！



法人の奨学金制度で授業料を援助してもらい、春から西野学園に入学！

阪神タイガースの
ファン歴38年！



名前入り！

試合に合わせてユニフォームを着て応援しています。ファンクラブにも入っています。

帯広マイトリ
グループホームつばき 利用者
まえだ まさとし
前田 真利さん(44歳)

- 1 今年も阪神タイガースを応援します！
- 2 昨年はファンになってから初めて日本一の姿を見ることができて感動しました。今年も頑張っで欲しいです。



郷

僕たち、私たち

Nice! コンビ //

いっしょにいと
楽しかったり、嬉しかったり。
お互いがお互いにとって、
掛け替えのない存在なのです。

撮影するときに
「美人さんに撮ってね♪」と
お茶目にポーズを
取ってくれました。



帯広至心寮 利用者
うこん みよこ
右近ミヨ子さん(91歳)

～故郷の懐かしい思い出～

働いていた郵便局

ミヨ子さんは当別町の生まれで、10人兄弟、農家を営む両親に育てられました。特に父親は挨拶や規律に厳格な人だったそうです。

学校を卒業してからは、自宅兼職場の「西小川通簡易郵便局（後に当別簡易郵便局に改称）」で働き始めました。この郵便局は当時、町の唯一の郵便局であり、近隣には高校や役場もあったため、利用者が絶えませんでした。毎日忙しく働き、山ほどの伝票を処理し、そろばんを

使って計算をし、お金が1円でも合わなければ夜中まで働き続けることもありました。しかし、その仕事を嫌だとは思わなかったのは、厳しい父親の教えのおかげだと振り返ります。

仕事に真摯に向き合うことで努力は実を結び、優れた成績を収めて表彰されたこともありま

「正しく生きるって大切なことなのよ」とミヨ子さんは教えてくれました。



帯広慈光学園
利用者
やすかわ めぐみ
安川 恵さん(55歳)



帯広慈光学園
利用者
たかだ ちか
高田 知佳さん(40歳)



高田さん
「大好きな安川さんにチュッ♡」

15年以上、同じグループで活動している安川さんと高田さん。安川さんのことが大好きな高田さんが「やっちゃん」と安川さんと呼ぶと、安川さんはうれしそうに口角を上げて答えます。

安川さんがお風呂から上がらないときや散歩中に立ち止まったとき、支援員が声を掛けても動かないときでも、高田さんが「やっちゃん、おいで」と声を掛けると動き始めることも。積極的な高田さんに対して消極的な安川さんですが、きっと高田さんのことが大好きなのでしょう。面倒を見たい高田さんと面倒を見てほしい安川さん。笑顔で寄り添う二人の姿は周りも笑顔にしているのです。

あんのんができるまで

12月下旬～
1月上旬

取材者候補の選出

テーマにあった取材候補者に交渉します。各施設からまんべんなくご紹介したいので、みなさんぜひ協力してくださいね！

12月中旬

55号企画会議



今回のテーマは55号にちなんで「Go! Go! Go!」。テーマに沿った誌面企画をみんなで話し合います。

2月下旬～
2月上旬

原稿作成、確認



取材をもとに原稿を書き、デザイナーと相談して誌面を作っていきます。出来上がった誌面の確認作業も数回行います。

1月下旬～
2月上旬

取材・撮影



クナウパブリッシングの編集スタッフが取材・撮影に伺います。みなさん素敵な笑顔です！

3月8日

完成・発行！

印刷が出来上がり、皆さんのもとに届きます。



2月下旬～
3月上旬

印刷

確認を終えた原稿。いよいよ印刷へ！

広報・地域公益活動委員

あんのんチームのご紹介！

帯広やわらぎ園
生活支援員
石井恵里香さん

通所なのでご家族からエピソードをもらうのに苦労します。職員も多くないので、皆さんの協力をぜひお願いします！

帯広信楽苑
生活相談員
田名部 剛士さん

コロナで交流が少なくなってしまったので、取材を通じてそのことを深く知れることが嬉しいです。若いスタッフにもっと出てほしいですね！

帯広光南病院
事務員
大久保 友紀さん

利用者は寝たきりの方も多いので、職員に出てもうることが多いです。テーマに合わせるのがちょっと大変…。

帯広はちす園
生活支援主任
物井 克敏さん

お話ができる方と難しい方がいるので、取材には利用者さんのご家族の協力も必要です。



帯広至心寮・光輪
生活相談課長
吉成 雅弘さん

長年やっていると考えが凝り固まってくるので、テーマや構成を考えるのが大変ですが、見てくれるご家族に喜んでもらったり、地域の方からも好評なことが嬉しいです！

帯広慈恩の里
生活相談主任
郷 晃さん

毎回のテーマを決めるのが大変です。お元気なデイサービス利用の方に出たいことが多くですね。取材は支援をする上での情報収集に役立っています。

帯広マイトリー
生活支援員
天野 峻介さん

初めて広報委員になり、あんのんの製作に携わりました。利用者様や職員を知れる良い広報誌だと思っています。自分も見るのが楽しみです！

剛

スポーツに取り組む職員を紹介
「柔道」



帯広はちす園 生活支援員
おかむら ともひろ
岡村 智啓さん(47歳)

のために子どもたちに指導を始め、現在は少年団で柔道を教えています。

今年はずす園に異動になり、利用者さんと日々向き合っています。この仕事は体力勝負なところもあり、岡村さんにはうってつけ！「強い、強い、くじけない」という意味の「剛」が似合う職員です！

右が岡村さん



こだわりは黒帯に赤で名前を入れること！中学3年生の時に黒帯を取得、当時強かった先輩の真似をしたのだそう。



小学1年の頃から柔道を始めたという岡村さん。最高成績はなんと学生時代に全国2位、97年に行われた全国青年大会でも個人戦で3位という強者です。全国青年大会では7名の北海道代表の一人に選ばれました。開会式では当時の紀宮様（黒田清子さん）がご挨拶をされていたそうです。

当時の岡村さんは髪が長く、俗にいう「マツシールムカット」。坊主頭が多い中、変わった髪型で、見た目で見くびってくる相手をなぎ倒していったとか。

高校卒業後は「職人」に憧れ、大工の道へ。その頃も年に7〜8回は試合に臨んでいました。31歳のときに試合を引退、介護士を目指し光南病院に就職、働きながら大谷短大に通い資格を取得しました。引退後には柔道の楽しさを伝え

私とO.Oシリーズ

私と「ペーパーブロック」



帯広信楽苑 利用者
かたまり ひろあき
片桐 弘明さん(93歳)

「これが手作り？」と尋ねてしまうくらい、完成度の高いペーパーブロックを生み出す片桐さん。部屋には、色とりどりの作品が所狭しと飾られています。ペーパーブロックとは、色紙や画用紙で同じパーツをいくつも作り、それを組み合わせることで複雑な形を作り上げるブロック折り紙のこと。片桐さんは、ふりかけの袋など日常的に使っているものも材料として再利用。他の利用者さんの部屋を回って集めています。作り始めたきっかけは、友人から貰ったペーパーブロックのキット。手先が器用な片桐さんはメキメキと腕を上げ、前にいた施設ではペーパーブロック教室の先生をするほどに！「ここでも教室ができたらいな」と少し照れくさそうに話してくれました。



パーツがとっても小さい！これをいくつも作って組み合わせていくので、とっても根気が必要な作業です…。



見せていただいた作品の一部。「傘（写真右下）は特に難しかったね」と片桐さん。



1つの作品を作るのに、約1〜2カ月かかるそう。きらっと光る船を作った時が1番時間がかかったそう。

法人ステップ休暇を利用！

ステップ休暇

勤続6年を経過した職員に対して、職員の心身のリフレッシュのための旅行に利用することを原則とし、5日間の連続休暇を付与しています。

犬

愛犬との初旅行は ハプニングだらけ！？

行先 ニセコ、函館



鈴木純弥さん(46歳)
帯広やわらぎ園 主任



朝市や五稜郭を 満喫！

今回の休暇は、奥様の希望で愛犬と行く2泊3日のニセコ、函館旅行！

一昨年20年一緒にいた愛犬を亡くし、昨年2月に保護譲渡会で引き受けた「紬」ちゃんと初の旅行となりました。旅費の一部を負担してもらえることや、遠出も初めてということもあり、自然豊かなスポットを巡るちょっと贅沢な旅に。

しかしこの日は猛暑日で、屋外の観光にはぐったりする気温。さらに移動中に渋滞事故に巻き込まれるなどのハプニング続き。ちょっといいホテルを予約していたことが癒でした。次の機会には稚内など北の方に、もっとゆったりした日程で行きたいですね。もちろん愛犬も一緒です！



豪遊してきました！

帯広慈恩の里 利用者
つちだとくぞう
土田徳藏さん(88歳)

建築会社を営んでいた土田さんは1年に2～3回、国内をはじめ海外にも旅行に行っていたそうです。

当時はバブルも最盛期、景気も人も豪快です。家族や兄弟とともに、会社の社員旅行として、取引先の招待を受けて…などなど。お話を聞くと日本の各地はもちろん、ヨーロッパ、オーストラリア、アフリカ、ケニア、インド、スイス、エジプト、イタリア、香港、インドネシア、マレーシア…次々と国名が出てきます。

思い出に残っているのはヨーロッパの歴史ある建物や、アフリカでジープに乗って野生動物を見たことや、インドでゾウに乗ったり、各国で高級食材の料理を食べたり…。でも、「結局日本食が一番おいしい」そうです(笑)。



2004年
台湾旅行



帯広慈光学園職員による利用者への虐待行為について

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

また日頃より当法人の運営に一方ならぬご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。
既に各種報道等もされており、ご存じの方も多数いらっしゃる事と思いますが、去る令和5年11月27日に障害者支援施設 帯広慈光学園において職員による利用者への虐待行為が判明致しました。
大変なご心配とご迷惑をお掛けしました事を心よりお詫び申し上げます。
本件に関する現在までの当法人の対応につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

令和5年11月27日

十勝総合振興局並びに帯広市へ虐待行為の事実について、即日報告。

令和5年11月30日

加害職員及び、理事長、法人本部副所長、帯広慈光学園施設長4名が、被害に遭われたご本人様と
そのご家族様宅へ訪問の上、謝罪。

令和5年12月4日

帯広慈光学園職員に対し、虐待防止・権利擁護等に関する理事長の訓示。

令和5年12月7日

法人コンプライアンス委員会、第1回懲罰委員会並びに理事会の開催。

令和5年12月13日～

十勝総合振興局による帯広慈光学園への特別監査実施。

令和5年12月14日

第2回懲罰委員会開催。加害職員及び帯広慈光学園役職者への聞き取り調査を実施。

加害職員については同日付け懲戒解雇処分。

令和5年12月19～26日

帯広慈光学園全職員への聞き取り調査実施。

令和5年12月28日

十勝総合振興局並びに帯広市へ関係職員等に対する聞き取り調査結果の報告。

令和6年1月4日

帯広慈光学園全職員を対象とした倫理に関する研修会実施。

令和6年1月22日

第3回懲罰委員会開催。施設管理体制の不備を理由に帯広慈光学園役職者に対する懲戒処分の実施。

併せて法人の責任として理事長と法人本部副所長とが自己罰を科す。

令和6年2月15日

帯広慈光学園全職員を対象とした虐待防止・権利擁護に関する研修会実施。

今回の件につきましては、帯広慈光学園のみの事案と捉えず、法人全体の問題と捉えており、直ちに虐待防止・権利擁護等に関する研修の実施等、是正処置を講じて参ります。

失われた信頼を回復する為には、多大な時間を要する事を十分に承知しておりますが、利用者本位という福祉の原点に立ち返って、これからの支援を進める所存でございますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

謹白

社会福祉法人 真宗協会
理事長 朝日 順悟

男性職員の子育て応援

真宗協会では法人規定に基づき、
男性の育児休業取得を推奨しています。
帯広慈恩の里で介護士として働くファンドッグさんに、
男性の育児休業取得について伺いました。



ベトナムから
日本へ移住し、
2022年に第一子を
授かったお父さん。
6カ月間の育児休業を
取得しました。

帯広慈恩の里
介護士
ファンドッグ・ギャさん
(28歳)

育児休業取得のきっかけ

ニュースを見て、日本には男性の育児休業制度があることを知りました。体調を崩していた妻のサポートをしたかったため、職場の方に相談して6カ月間の育児休業を取得しました。

育児休業中について

子育ては想像以上に大変でした。毎日、仕事より忙しかったのですが、子どもが笑う瞬間が何よりも幸せでした。

休暇が終わった今も、食事づくりや買い物、保育園への送り迎えは続けています。妻はとても喜んでます。

育児休業を取得してみて

ベトナムには男性の育児休業制度がないため、とても感動しました。妻をサポートすることもできましたし、自分自身の手で子育てをすることができて良かったです。みなさんにも育児休業を取ってほしいです！

育児休業後の職場復帰について

復帰後は出勤時間を短縮させていただいたこともあり、仕事と子育てをバランスよく両立することができています。育児休業取得を快く後押ししてくださった職場の方にはとても感謝しています。

日本の生活について

介護の仕事は少し大変ですが、利用者さんの「ありがとう」という言葉が励みになっています。
また、都心部に比べて帯広は時間がゆっくり流れていて、車があれば困ることはないので子育てもしやすいと感じています。



医療
福祉

無料または低額診療施設

帯広光南病院

帯広市空港南町303番地7

TEL 0155-47-4811 / FAX 0155-47-4812



- 外来診療(内科・リハビリテーション科)
- 医療療養型病床
- 訪問リハビリテーション事業所
- 訪問看護事業所

老人
福祉

養護老人ホーム

帯広信楽苑

帯広市空港南町345番地2

TEL 0155-49-6300 / FAX 0155-49-6301



- 特定施設入居者生活介護

老人
福祉

特別養護老人ホーム

帯広至心寮

帯広市西5条南30丁目14番地

TEL 0155-24-9572 / FAX 0155-24-5561



- 短期入所事業所(ショートステイ)
- 地域包括支援センター
- サテライトセンター(東)

老人
福祉

デイサービスセンター

帯広至心寮

帯広市西4条南35丁目4-1

TEL 0155-66-7995 / FAX 0155-48-1019



- デイサービスセンター
- 居宅介護支援センター

老人
福祉

帯広至心寮サテライト施設

光輪

帯広市西5条南30丁目10番地

TEL 0155-22-5060 / FAX 0155-27-6541



- 地域密着型介護老人福祉施設
- 小規模多機能型居宅介護事業所

老人
福祉

特別養護老人ホーム

帯広慈恩の里

帯広市空港南町303番地1

TEL 0155-49-2800 / FAX 0155-49-2815



- 短期入所事業所(ショートステイ)
- デイサービスセンター

障害者
福祉

障害者支援施設

帯広慈光学園

帯広市大正町東1線102番地

TEL 0155-64-5106 / FAX 0155-64-5136



- 施設入所支援
- 生活介護事業
- 短期入所事業(ショートステイ)
- 地域生活支援事業
- (日中一時支援事業 移動支援事業)

障害者
福祉

障害者支援施設

帯広はちす園

帯広市大正町東1線102番地1

TEL 0155-64-5044 / FAX 0155-64-5261



- 施設入所支援
- 生活介護事業
- 短期入所事業(ショートステイ)
- 地域生活支援事業(日中一時支援事業 移動支援事業)
- 多機能型障害者就労支援事業
- (就労移行支援 就労継続支援B型)
- 相談支援事業

障害者
福祉

障害者GH

帯広マイトリ

帯広市大正町443番地26

TEL 0155-64-4020 / FAX 0155-64-4900



- 共同生活援助(介護サービス包括型)
- かしわ ○ みずき ○ かえで
- ぼふら ○ さくら ○ さつき
- つばき ○ けやき ○ りあん

障害者
福祉

障害者生活介護事業所

帯広やわらぎ園

帯広市大正本町267番地1

TEL 0155-63-2055 / FAX 0155-63-2056



- 生活介護事業